

## 祭りと行事

### とうやさい 当屋祭

旧水木八町内を中心に当屋祭と呼ばれる伝統行事が継承されている。

当屋祭は泉神社の分霊を、1年毎に順送りする引き継ぎの儀式で、旧暦の2月12日・13日(現在は3月の第2土・日曜日)に行われている。

当屋祭は神社が無かった時代に、家内安全・無病息災を祈願するため、御神体を当番制で受け渡ししてきたものである。神社造営後も分霊でこの神事が続けられている。

当屋には八つの町内を順々に廻る本当屋と、各町内単独に5軒1組で廻る枝当屋とがある。

引き継ぎの儀式は、厳粛を旨として平身低頭で行い「頭が高い!尻が高い!」などと仲人から声がかかることから「高い、高い」の別名で親しまれている。

### ふれあいレクリエーション大会



毎年11月3日(文化の日)に泉丘中学校を会場にして、水木学区市民運動推進会主催の「ふれあいレクリエーション大会」を行っている。

この大会は、地域全体を対象とした数少ない行事の一つで、世代を越えたコミュニケーションの場として親しまれている。

年々参加者が増え、平成10年に第10回の記念大会が行われた。

## 自然

### はまぎくの里

はまぎくは、青森県から茨城県の海岸に自生する多年生のきく科の植物である。花期は10月から11月で、崖から垂れ下がった茎の先



に白い花をつけ、葉の緑と相まって秋の海岸崖地に晩秋の風情を添えている。

これはまぎくも、乱獲や自然破壊のあおりを受け、その数も減少しつつある。そこで水木小学校・泉丘中学校の児童会・生徒会が中心になり、PTAや海辺を考える会、市民運動推進会の方々とともに毎年苗をつくり、水木海岸に移植して「はまぎくの里」づくりに取り組んでいる。

これらの活動が、自然を愛する心、郷土を愛する心を育てていくものと思われる。

### 泉が森のイトヨ

泉が森のイトヨは、その起源については不詳であるが、平成3年9月、元の養魚場の付近で40~50尾のイトヨの生息が確認された。

イトヨは、トゲウオ科の魚で体長は5cm程度、背に3本のトゲがあり、希少な魚である。

現在、養魚場跡に数十匹のイトヨが確認されており、将来、養魚場跡に水公園(仮称)が出来ればイトヨの生息する公園として親しまれるものと期待されている。

## 特産物

下の写真は、水木地区の主な農産物加工品と海産物加工品である。



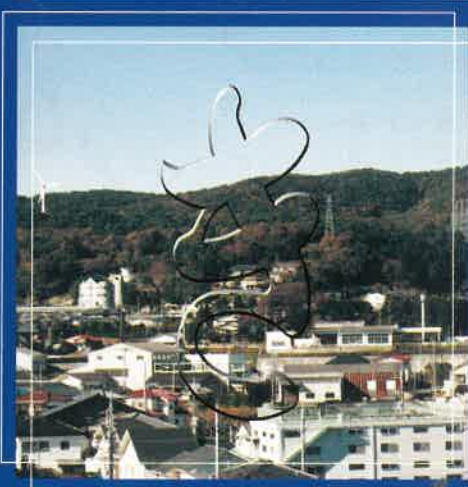
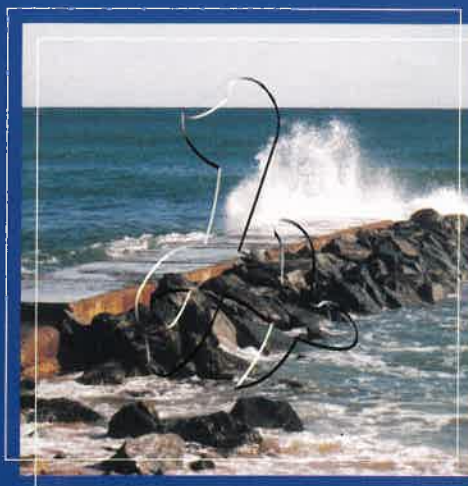
印刷:(株)ヘックアイティ

## 水木学区の略年表

西暦(年号)	主なことがら
24,600年前頃	六ツヶ塚遺跡(旧水木町、現大みか町3丁目)で石器を使用した人々の生活が営まれる(日立市内最古の遺跡)
13,000年前頃	宮脇A遺跡(森山町3丁目)で細石刃を使った生活が営まれる
7,000年前頃	泉原(水木町2丁目)に貝塚がつくられる
6,000~5,000年前	泉原遺跡に縄文時代前期の集落が営まれる
550~600年	甕の原(水木町2丁目)に前方後円墳や小さな円墳がつくられる
717~723年	常陸国風土記が編さんされ「密筑」の記事がみられる
851年(仁寿元年)	水木浜で金砂神社の大祭礼(第1回目)が行われる
1335年(建武 2年)	佐竹貞義と北畠顕家の軍と甕の原で戦うという
1645年(正保 2年)	水戸藩は水木村に異国船遠見番所を置いた
1871年(明治 4年)	廃藩置県により茨城県が誕生し、日立地方もその所管となる
1889年(明治22年)	水木村、森山村、大沼村が合併、坂上村となる 坂上尋常小学校創立(現水木小学校)
1897年(明治30年)	常磐線水戸ー平間開通し、大甕駅が開駅する
1929年(昭和 4年)	常北電鉄(現日立電鉄)が常北太田ー大甕間開通する
1931年(昭和 6年)	水木浜で金砂神社の大祭礼が行われる(第16回目)
1936年(昭和11年)	ベルリンオリンピックに水木出身の遠山喜一郎氏体操に出場する
1941年(昭和16年)	太平洋戦争始まる。坂上村は多賀郡多賀町に編入する
1945年(昭和20年)	太平洋戦争終わる
1947年(昭和22年)	日立電鉄線 大甕ー鮎川間開通する
1953年(昭和28年)	NHKテレビ放映開始する
1955年(昭和30年)	多賀郡多賀町などが日立市に合併する
1960年(昭和35年)	市営森山浄水場完成する
1962年(昭和37年)	泉丘中学校開校する。水木学区に水道が布設される
1964年(昭和39年)	水木学区に都市ガス入る
1966年(昭和41年)	森山団地、海端団地造成開始する
1967年(昭和42年)	日立港が重要港湾に指定される
1968年(昭和43年)	国道245号線 水木ー大甕間開通する
1972年(昭和47年)	水木町新住居表示になる(大みか町が誕生) 水木団地造成開始する
1973年(昭和48年)	みかの原団地造成開始する
1974年(昭和49年)	松山下団地造成開始する。水木学区市民運動推進会発足する。大みか小学校開校する(水木小学校より分離)
1980年(昭和55年)	台原中学校開校する(泉丘中学校より分離) 泉が森公民館が開館する
1983年(昭和58年)	泉神社が再建される
1985年(昭和60年)	常磐高速自動車道が開通する(日立北インターまで)
1987年(昭和62年)	泉が森体育館が落成する
1989年(昭和64年) (平成元年)	昭和天皇崩御し、平成となる 水木小学校創立100周年を迎える ふれあいレクリエーション大会始まる(第1回)
1990年(平成 2年)	公共下水道使用開始する
1992年(平成 4年)	海岸道路 水木ー河原子間開通する
1998年(平成10年)	ふれあいレクリエーション第10回記念大会開催する

協力者 (佐藤 惣一 佐藤 昭二 舟橋 正隆 粕谷 利通 朝日 敬興 高木 正雄 内山 義人)

## 海と泉と森のみずき



## 日立市水木学区市民運動推進会

マップ作成委員会(平成10年度)